

伴走型支援が導く中小企業DX実現への第一歩

～北海道DX推進協働体 成果報告会～

定員 会場：100名 オンライン：100名

参加無料



■開催日時

2023年3月23日(木)
14:30～16:30

■会場（ハイブリット方式）

ANAクラウンプラザホテル札幌
3階 鳳（おおとり）

（札幌市中央区北3条西1丁目2-9）

■プログラム

※オンライン（YouTube）でも同時配信いたします。

1. 基調講演 14:35～

演題：道内企業のDXのはじめ方 ～伴走型支援を通じてわかった
DX化を進めるためのポイントと課題～

講師：【一般社団法人 北海道IT推進協会 相談役理事】
株式会社 サンクレエ 代表取締役 森 正人 氏

2. 道内でのDX推進の支援事例と実践企業の取組事例 15:05～

「北海道DX推進協働体」2022年度の実施報告と2023年度の取組について
公益財団法人北海道科学技術総合振興センター

◎事例① DXによる現場職員の『作業負担軽減』への取組
萩原建設工業 株式会社【帯広市・建設業】

◎事例② DXによる『データを活かした経営』に向けた取組
株式会社 トーシン【帯広市・がん具、娯楽用品小売業】

◎事例③ DXを進める『社内体制の構築と戦略策定』の取組
北海道ワイン 株式会社【小樽市・食料品製造業】

3. DX支援施策に関する情報提供【北海道経済産業局】 16:05～

主催：経済産業省北海道経済産業局

【申込方法】裏面に記載のURLからお申し込みください。

公益財団法人北海道科学技術総合振興センター

◎北海道DX推進協働体とは？ ⇒ <https://www.hkd.meti.go.jp/hokcm/20220627/index.htm>

産学官金の関係者が一体となった支援コミュニティを整備し、地域企業がDXを実現させるために必要な経営・デジタルに関する専門的知見やノウハウを補完するための各種支援活動を行い、地域企業で取組が遅れているDXを強力に推進し、地域企業の生産性を向上させることを目的として、令和4年6月に発足しました。

【参画団体】

【組織図】

| | | | |
|----|-----------------------|----|-----------------------|
| 1 | 公益財団法人北海道科学技術総合振興センター | 13 | 公益財団法人室蘭テクノセンター |
| 2 | 株式会社北海道銀行 | 14 | 一般社団法人北海道商工会議所連合会 |
| 3 | 株式会社北洋銀行 | 15 | 北海道商工会連合会 |
| 4 | 株式会社北海道共創パートナーズ | 16 | 一般社団法人北海道IT推進協会 |
| 5 | 一般社団法人北海道信用金庫協会 | 17 | 地方独立行政法人北海道立総合研究機構 |
| 6 | 公益財団法人北海道中小企業総合支援センター | 18 | 北海道ITコーディネータ協議会 |
| 7 | 一般財団法人旭川産業創造プラザ | 19 | 株式会社N T T 東日本 - 北海道 |
| 8 | 一般社団法人北見工業技術センター運営協議会 | 20 | 北海道電力株式会社 |
| 9 | 公益財団法人釧路根室圏産業技術振興センター | 21 | 一般社団法人北海道機械工業会 |
| 10 | 一般財団法人さっぽろ産業振興財団 | 22 | 一般社団法人北海道食品産業協議会 |
| 11 | 公益財団法人とちか財団 | 23 | 独立行政法人中小企業基盤整備機構北海道本部 |
| 12 | 公益財団法人道央産業振興財団 | 24 | 経済産業省北海道経済産業局 |



※活動の詳細は下記のHPを参照ください。
【道内企業のDXポータル】 ※ノーステック財団HPへリンク
<https://dx-support.noastec.jp/>



◎基調講演講師



株式会社 サンクレエ 代表取締役 森 正人 氏

- 30年以上に渡り中小企業向けの基幹業務システムの開発に従事。
- 本年度のDX推進事業における地域企業のDX推進を目的とした支援活動である専門家による伴走型支援に参加。

【経歴】

- ・一般社団法人北海道IT推進協会 相談役理事
- ・札幌商工会議所 情報部会役員
- ・SAPPORO AI LAB テクニカル・メンバー



◎事例企業①：萩原建設工業 株式会社

1918年設立。十勝帯広を基盤に道内をはじめ首都圏までを営業エリアとし、住宅やオフィスビル、官公庁舎、道路、橋などを建設する地元大手の総合建設会社。地域経済や建設業界をけん引。2023年1月にDX戦略を公開、積極的にDX化推進に取り組む。

◎事例企業②：株式会社 トーシン

1975年創業、帯広に本社を置き、ガチャガチャマシンの販売・レンタル、カプセルトイの販売、カプセルトイ専門店（#C-pla (シープ)）の運営などアミューズメント事業を展開。北海道名物をカプセルトイにするなどオリジナル商品の企画・開発も行う。

◎事例企業③：北海道ワイン 株式会社

1974年設立。北海道小樽市に本社を置く「日本ワイン」最大の製造メーカー。ワインの製造販売のほか、ビール・発泡酒・ワインビネガーの製造販売も行っている。日本ワインコンクールなどにおいても数々の賞を受賞しており、高い評価を得ている。

●申込方法 ※申込フォームへ入力いただきますと、本会のオンライン配信URLを記載したメールが届きます。

以下の参加申込フォームのURL、または右記QRコードよりお申込ください。

https://mm-enquete-cnt.meti.go.jp/form/pub/hokkaido02/202303_dx_sem_entry



※入力いただいた情報は、本セミナーの運営のほか、参加者の実態把握のために使用させていただきます。 また、個人情報については、その保護に万全を期すとともに、第三者へ開示・提供することはありません。

●問い合わせ先

(公財)北海道科学技術総合振興センター（ノーステック財団）

ビジネスソリューション支援部 黒澤・堀内・安田

〒001-0021 札幌市北区北21条西12丁目 コラボほっかいどう

TEL 011-792-6119

MAIL dx-support@noastec.jp

◎オンライン参加における注意事項

- ・ご使用のPC・タブレット端末、インターネット回線等が視聴環境を満たしているかを、事前にご確認ください。
- ・環境次第では本セミナーの映像が途切れ、または停止する等、正常に視聴できないことがございます。
- ・なお、ご視聴にあたっての技術的なお問合せにつきましてはご回答いたしかねます。